

# 8千円!!! 黒字

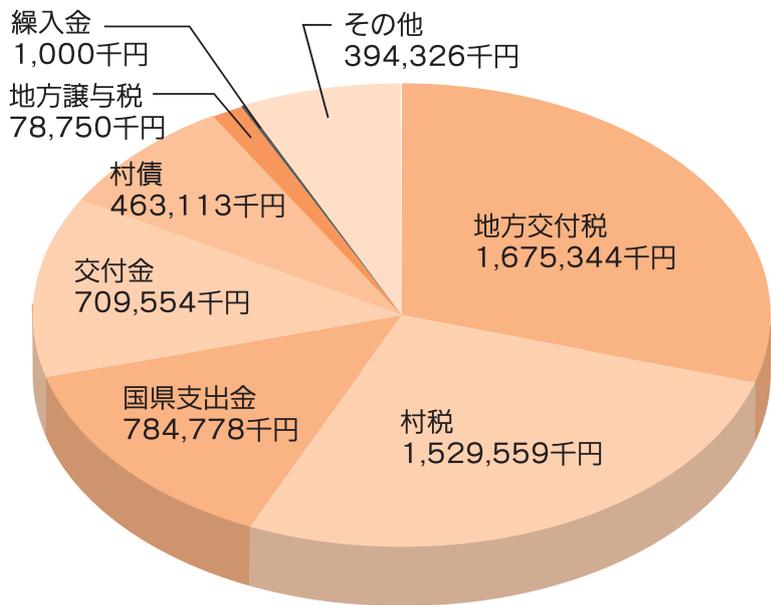
## 決算特別委員会 での審議

### ● 一般会計歳入歳出決算

* 報告	1 件
* 一般会計等予算の議案	2 件
* 条例の一部改正	3 件
* 認定	7 件
* 同意	1 件
* 請願・陳情	7 件
* 意見書	5 件
* その他	1 件
* 一般質問	8 名

歳入総額56億3642万4千円 前年度比6億4970万7千円 13・0%の増。歳出総額55億3244万4千円 前年度比6億1292万7千円 12・5%増。翌年度へ繰り越す財源1350万2千円を差し引いた実質収支は9047万8千円の黒字決算となりました。

### 一般会計 歳入の状況



財政調整基金に1億3086万6千円を積み立て、6億3208万8千円となり、減債基金3億3418万1千円との合計9億6626万9千円となりました。取り崩しを始める以前の平成13年度末と比較して6268万9千円を上回る積立額となりました。

福祉基金に1億円、義務教育施設整備基金に1億円、ふるさと納税制度寄附による基金に1550万7千円を積み立て、特定目的基金の総額は3億8600万1千円となりました。実質公債費比率は3カ年平均19・2、単年度数値では16・

0と順調に減少し、平成23年度には18をきる見込みとなりました。将来負担比率は64・4となり、全く心配のいらぬ状況となっています。

**問** 経常収支比率は、

**答** 経常収支比率は前年度比5・9ポイント下降し75・2%となりました。公債費や一部事務組合への負担金(経常経費一般財源)が減少し、積立金(臨時経費一般財源)が増加したことによります。国の施策によって変わります。国が適正という70に10ポイントほど加算した数値が適当であるといわれています。

**問** 事務事業評価の37事業の選定経緯は、

**答** 全課250事業について、各課で評価調査を作り、庁内評価委員会外部評価の対象を37事業としました。外部評価結果を主管課にフィードバックし各課はそれを参考にして予算要求します。